

令和4年度第3回水窪小中学校コミュニティスクール運営合同協議会 議事録

日 時：令和4年12月15日 14：30～16：20

場 所：水窪中学校 ランチルーム

出席者：塩崎、三輪、金田、守屋(貞)、西岡、平出、田中

コーディネーター) 平澤、牧内

小中学校) 山下・中村校長 太田・新教頭

教育委員会) 堀田

オブザーバー・傍聴なし

敬称略

【第1部】14：30～14：50

授業参観(水窪中学校各教室)

【第1部】15：00～16：20

協議会 (進行：牧内)

1. 開会の言葉(牧内)
2. あいさつ(会長、中学校校長、小学校校長)
3. 議長の選出
牧内より塩崎会長推挙の提案、全員承認
4. 第2回協議会の振り返り・確認(新教頭より説明)
5. 報告・協議(進行：塩崎会長)

① 報告

小中学校の7～12月CS活動状況報告(小中学校教頭)

② グループ協議(3班)

テーマ：(1)授業参観の感想 (2)CSとしてできること (3)合同での協議会の成果と課題

教育委員会堀田氏：「別棟合同協議会は水窪しかない。他の地域から要望もあり、先行している小中合同CSの成果や課題は後続校の参考になるため、議題として要請した」と事前説明。

1班 塩崎、三輪、金田、新教頭 (発表者) 新教頭

(1) 中学校の合同体育はよいと思った

(2) ・学年ごとの知識・能力レベルがわからないので、何ができるかはわからない

・小学校は来年から児童数が2/3になる。友達が少ない子供って大丈夫なの？人としての教育には問題はないの？先生の人数も減る中で、授業は大丈夫？

・コロナで様々な距離感が大きくなった(子ども同士、先生と子供、地域と先生など)

(3) ・合同であることの課題は特に感じたことはない。

・少し前から、行事などを小中で実施することが当たり前になっている

2班 西岡、守屋、牧内、山下校長 発表者)守屋

- (1) 参観した委員なし
- (2) ・畑、山の活動メインの地域サポーターを大事にしながらも他の活動はできないか？
 - ・子供の人数が少ないので、もっと地域住民を巻き込みたいだ、学校としては困るのか
 - ・中学は小学校より「勉強」がたくさんあって、小学校のように地域住民が協力する活動ができていない。家庭科のメニュー作りから派生して地元スーパーで「中学生弁当」を販売したように、必要な授業の中で地域住民と連携できないか？
 - ・中学校からどんなことをしてほしいか意見を出してほしい
- (3) ・焼酎合同でできること、できないことがわかるといい。

3班 平出、田中、平澤、中村校長、太田教頭 発表者)太田教頭

- (1) ・中学生の合同体育は、工夫して体力差に配慮している。人数が少ない中、男女や学年で分けることによるデメリットもあるので、バランスをとっている。
 - ・運動することの楽しさを教えるのも大切。球技などは大勢でないとできない。合同体育はいいと思う。
- (2) ・一般的にCSの活動は先生からの要請で実施することが多い。
 - ・先生は忙しく、正直なところ活動を思いつけない。地域からの提案を期待する
 - ・学校の授業を知らない住民が提案すれば、迷惑な提案ばかりになる。
 - ・「先生のインスピレーションの種」として提案が欲しい、という両者の了解があればいいと思う。
 - ・保護者や地域住民と先生たちの距離感がないことは、保護者としてありがたい
- (3) ・もともと若い世代が少ない地域なので、人材流用は当たり前の地域。役割をきっちり分けられたら人数が足りないので、合同のほうが効率的
 - ・合同であることの問題は感じないが、離れているので不便
 - ・合同というほど合同な感じが無い。小中合同学校行事は増えたが、CSの話とは別だし。
 - ・せっかく「合同」なら、9年間を通した活動など、合同だからこそできる活動の検討を

6. 連絡事項(新教頭)

- ・学校教育に関するアンケート(12/20 締切)
- ・運営協議会自己評価(12/20 締切)
- ・協議会委員意向調査(12/20 締切)
- ・水窪小学校 150 周年記念行事について
- ・中村校長) 来年度の記念行事に向け、実行委員会を設置する予定
- ・教育委員会より、協議会任期の補足説明
- ・次回協議会日程 2/15 に小学校の感謝の会と同時開催予定 詳細は後日郵送にて

7. 閉会の言葉(牧内)